

事務事業 No./名 称	■サービス部門 こども-02 子育て支援事業				ザイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門				1110	子育て支援事業
主管課	こどもみらい課		関連課	青少年課	1221	子育て支援事業
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	子育て支援情報を収集・提供・発信するほか、子育て支援行事等を実施する。つどいの広場事業等の実施や、子どもが安全・安心して生活ができる環境づくりを行う。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考		
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状 況	決算値	24,060千円	23,055千円		指標と評価	
	(国・県)				指標	子育て支援事業利用者 延人数
	(負担金等)	2,577千円	1,300千円		評価	○
	(一般財源)	21,483千円	21,755千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	人員配置数	1.5人	1.5人			
	人 件 費	14,563千円	14,301千円			
	協 働 の パートナー	子育て支援コンシェルジュ 子育て支援グループ懇談会	子育て支援コンシェルジュ 子育て支援グループ懇談会			
事務事業 運営経費	総事業費	38,623千円	37,356千円		目標値	実績値
	市民1人当 りの経費	219円	212円	20年度		7,437
	対象者1人 当りの経費			21年度		8,018
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				22年度	
					23年度	
					最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 市民や市民団体との連携を図りながら子育て支援施策を実施している。子どもたちと高齢者が触れ 合える機会や親子(乳幼児)の参加の機会を拡充していく必要があった。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 子育て支援事業のうちの一つである「ママ&パパ'Sカレッジ」において、祖父母を含めた三世代交流 を試みた。また、「つどいの広場」を新たに腰越行政センターに開設し(7月)、子育て期の親子の支 援を進めた。				
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 「一日冒険遊び場」の常設化について、どのような手法で行うのかを検討する必要がある。また、子 育て支援センターが設置されていない地区では、設置されるまでの間、「つどいの広場」を継続して 行っていく必要がある。				
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 一日冒険遊び場の常設化について、開催場所やプレイリーダーなど具体的手法を検討する。子育て 支援センターが設置されていない地区では、設置されるまでの間、「つどいの広場」を継続して行っ ていくとともに、内容をさらに充実させていく。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	
A	有	次代を担う子どもこそが社会の基である。子どもたちが健やかに育つ環境をつくっていく。		A	有	子育てには、社会全体で支える仕組みづくりが必要である。そのための子育て支援事業であり、これからも子育て期の親子が、その期間を充実して過ごせるよう、施策を展開していく。
課長名		相澤 達彦		部名・部長名		佐藤 尚之